

## 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 5 日

上場会社名 フィールズ株式会社

上場取引所 JASDAQ

コード番号 2767

URL <http://www.fields.biz>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大屋 高志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役計画管理本部長 (氏名) 山中 裕之 TEL (03) 5784-2111 (代)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年3月期第3四半期	77,485 (20.8)	5,988 (27.5)	5,500 (9.1)	2,261 (△1.5)
19年3月期第3四半期	64,144 (45.9)	4,696 (245.5)	5,041 (187.4)	2,295 (236.0)
19年3月期	85,321	8,944	9,202	3,710

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	6,517 58	— —
19年3月期第3四半期	6,615 33	— —
19年3月期	10,692 29	— —

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	61,920	43,520	67.5	120,383 02
19年3月期第3四半期	66,490	41,596	60.1	115,191 56
19年3月期	66,081	42,836	62.2	118,487 37

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	3,053	△5,919	△114	14,849
19年3月期第3四半期	8,419	△2,540	1,342	23,035
19年3月期	5,293	△4,772	1,488	17,819

### 2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	100,000 (17.2)	10,000 (11.8)	10,000 (8.7)	4,200 (13.2)	12,103 74

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 有  
 (注) 詳細は、7ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成20年3月期第3四半期の個別業績（平成19年4月1日～平成19年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年3月期第3四半期	65,335 (22.9)	6,800 (34.8)	6,881 (27.2)	1,316 (△56.8)
19年3月期第3四半期	53,173 (39.1)	5,046 (318.6)	5,411 (258.7)	3,050 (271.8)
19年3月期	71,314	8,999	9,393	4,773

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	3,794 27	— —
19年3月期第3四半期	8,792 07	— —
19年3月期	13,755 49	— —

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	52,108	41,698	80.0	120,169 72
19年3月期第3四半期	56,838	40,549	71.3	116,857 49
19年3月期	57,509	42,001	73.0	121,042 25

2. 平成20年3月期の個別業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	80,000 (12.2)	11,500 (27.8)	11,600 (23.5)	3,700 (△22.5)	10,662 82

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、平成20年3月期の個別業績予想は修正しており、その詳細につきましては、本日（平成20年2月5日）公表の「平成20年3月期 業績予想（個別）の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 経営成績及び財政状態

### 1. 経営成績に関する分析

#### (1) 当第 3 四半期の概況

国民各層の余暇時間の増大とともに、エンタテインメント産業全体が多様化する今日、余暇市場は大きな構造変化の時を迎えています。

当社グループは、こうした時代の環境変化をいち早く予見し、パチンコ・パチスロ分野を起点に、かねてよりデジタルコンテンツの多元的利用を基幹とする戦略を企業競争優位性構築の基盤と捉え、その推進に注力してまいりました。今や当社グループの事業領域は、パチンコ・パチスロ市場はもとより、ゲームソフトウェア、スポーツ、映画、アニメーションなどに拡がり、幅広いエンタテインメント分野をカバーするグループを形成するに至っております。

現在、これらの各分野で積極的な事業展開及び投資を行っています。モバイル分野においては携帯サイトの会員数が順調に拡大し、映画分野においては映画ファンドを通じた出資第 1 号作品が公開されたのを皮切りに、続々と当社グループ出資作品の上映が行われるなど順調に推移しております。また、アニメーションの企画・制作・プロデュースを目的としたルーセント・ピクチャーズエンタテインメント(株)が新たに活動を開始するなど、一層のグループ基盤の強化に努めました。

今後も、グループ各社間でのシナジー効果の最大化を図り、コンテンツの融合や多面展開などのクロスメディアビジネスを強力に推進していくことで、「すべての人に最高の余暇を」という企業理念を実現してまいります。

当第 3 四半期の実績は下記の通りです。なお、当事業年度の第 1 四半期より、事業の種類別セグメント情報の四半期開示を実施しているため、各セグメントにおける前事業年度との四半期別実績対比はありません。

#### (売上高)

売上高は、77,485 百万円（前年同期比 20.8%増）となりました。

P S（パチンコ・パチスロ）・フィールドは、65,343 百万円となりました。上半期に新規則対応パチスロ遊技機の大規模な入替需要に合わせパチスロ遊技機の販売に重点を置いた結果、売上が好調に推移したことによるものです。

ゲーム・フィールドは、8,851 百万円となりました。ゲームソフトウェア販売が、北米市場において大きく拡大したことによるものです。

その他フィールドは、3,875 百万円となりました。モバイル分野において、エンタテインメント情報の総合コンテンツを提供するサイト運営事業が本格稼動したこと等によるものです。

#### (営業利益)

営業利益は、5,988 百万円（同 27.5%増）となりました。

P S・フィールドは、6,873 百万円となりました。上半期にパチスロ販売事業が好調に推移したことによるものです。

ゲーム・フィールドは、△414 百万円となりました。ゲームソフトウェア販売において、第 4 四半期販売予定の大型タイトルに関わる広告宣伝費等が先行して発生したことによるものです。

その他フィールドは、△454 百万円となりました。将来に向けた新事業への投資が先行していることなどによるものです。

#### (経常利益)

経常利益は、5,500 百万円（同 9.1%増）となりました。

営業外収益は 269 百万円、営業外費用は 757 百万円となりました。持分法による投資損失等を計上したことによるものです。

#### (四半期純利益)

四半期純利益は、2,261 百万円（同 1.5%減）となりました。

中間期において、一部関係会社の財務体質強化に向けての特別損失を計上したことによるものです。

(2) 当第 3 四半期の事業の種類別セグメント分析

① P S ・ フィールド

(パチンコ遊技機販売の状況)

パチンコ遊技機の総販売台数は、81,266 台 (前年同期比 50.8%減) となりました。

パチンコ遊技機販売タイトル	発売月
「CR ルーニー・チューンズ BIA」	平成 19 年 5 月 (株式会社ビスティ製)
「CR サクラ大戦」	平成 19 年 9 月 (サミー株式会社製)
「CR マスク・オブ・ゾロ」	平成 19 年 10 月 (株式会社ビスティ製)
「CRA フィリックス・ザ・キャット」	平成 19 年 11 月 (株式会社ビスティ製)
「CR トゥームレイダー」	平成 19 年 12 月 (株式会社ビスティ製)
パチンコ遊技機 総計上台数合計	81,266 台

注) 計上台数には、上記タイトル以外の代行販売による販売台数を含んでいます。

当社では、新規則対応パチスロ遊技機への入替えに対応するため、パチンコホールの短期的な資金がパチスロ遊技機購入にシフトすることを予測し、中間期は 2 タイトルの投入にとどめ、下半期より積極的な新機種投入を行っています。第 3 四半期 (10 月 - 12 月) においては、株式会社ビスティ製パチンコ遊技機を中心とした 3 機種を投入しました。なお、第 3 四半期 (10 月 - 12 月) には、9 月発売のサミー株式会社製「CR サクラ大戦」(累計販売台数約 4.1 万台) の大部分が販売手数料として売上計上されています。

また、本年 1 月には、株式会社ビスティ製「CR 新世紀エヴァンゲリオン～使徒、再び～」を投入していますが、パチンコホール及びファンから高い支持をいただき、順調に受注を伸ばしています。本遊技機の販売手数料の売上計上は第 4 四半期 (1 月 - 3 月) となり、当第 3 四半期には含まれていません。

(パチスロ遊技機販売の状況)

パチスロ遊技機の総販売台数は、190,982 台 (前年同期比 40.2%増) となりました。

パチスロ遊技機発売タイトル	発売月
「モーニング娘。」	平成 19 年 6 月 (株式会社ビスティ製)
「デビル メイ クライ 3」	平成 19 年 6 月 (株式会社ロデオ製)
「新世紀エヴァンゲリオン ～まごころを、君に～」	平成 19 年 7 月 (株式会社ビスティ製)
「快傑ハリマオ」	平成 19 年 7 月 (株式会社オリンピア製)
「くりいむしちゅー」	平成 19 年 9 月 (株式会社ロデオ製)
「マスクオブゾロ」	平成 19 年 9 月 (株式会社ロデオ製)
「ビーチクラブ」	平成 19 年 11 月 (株式会社ビスティ製)
「バーチャファイター」	平成 19 年 12 月 (株式会社ロデオ製)
パチスロ遊技機 総計上台数合計	190,982 台

注) 計上台数には、上記タイトル以外の代行販売による販売台数を含んでいます。

当社では、旧規則対応パチスロ遊技機の設置期限に伴う過去最大の入替需要が、中間期の 9 月までに集中すると見込み、この期間に新機種を重点的に積極投入し、新時代のパチスロ市場の開拓に積極的に努めました。下半期においては、新たなファン層を獲得できるようなエンタテインメント性、ゲーム性に優れた有力商品の供給を安定的に供給しています。第 3 四半期 (10 月 - 12 月) においては、株式会社セガの全面協力で実現した株式会社ロデオ製「バーチャファイター」をはじめとした 2 機種を投入しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 65,343 百万円、営業利益は 6,873 百万円となりました。

	中間期 (平成 19 年 4 - 9 月)	当第 3 四半期 (平成 19 年 4 月 - 12 月)	前年同期比	(参考) 平成 19 年 3 月期
売上高	58,715 百万円	65,343 百万円	—	71,306 百万円
営業利益 (△損失)	8,623 百万円	6,873 百万円	—	9,073 百万円

注) 売上高には、内部売上高又は振替高を含んでいます。

②ゲーム・フィールド

PS・フィールドとのシナジーが高いゲーム・フィールドにおきましては、国内市場向けでは、主力商品である「SIMPLE シリーズ」を主にニンテンドーDS 向けに商品を投入し、新たに Wii 向けに商品展開を行うなど積極的に事業展開を進め、フルプライスゲームソフト及びモバイル向けコンテンツとともに順調に推移しました。

海外市場向けでは、北米でグローバルコンテンツのタイトルを積極的に投入し、欧州においては引き続き北米及び日本から供給されたタイトルの販売に注力しました。

なお、海外市場を中心としたグローバルコンテンツの投入等に向けて先行投資が発生していますが、これは第 4 四半期（1 月 - 3 月）に、グローバルコンテンツであるオリジナルタイトル「darkSector」の販売を予定しており、ワールドワイドでの展開を強化しています。

以上の結果、当セグメントの売上高は 8,851 百万円、営業損益は 414 百万円の損失となりました。

	中間期 (平成 19 年 4 - 9 月)	当第 3 四半期 (平成 19 年 4 月 - 12 月)	前年同期比	(参考) 平成 19 年 3 月期
売上高	4,140 百万円	8,851 百万円	—	9,946 百万円
営業利益 (△損失)	△ 359 百万円	△ 414 百万円	—	220 百万円

注) 売上高には、内部売上高又は振替高を含んでいます。

③その他フィールド

グローバルにコンテンツが豊富なスポーツマーケティング分野においては、アスリートマネジメント事業は順調に推移し、ソリューション事業のトータル・ワークアウトは平成 19 年 12 月にサービス提供価格の適正化を実施するとともに、スポーツマーケティングを含めた地方都市展開への施策を進めました。

クロスメディアビジネスにおいて、他の分野と親和性の高い映画及びアニメーション分野においては、当社グループ全体の一次コンテンツ創出を牽引するために、映画、アニメーション及びコンテンツファンなどへの投資を引き続き積極的に行いました。

平成 19 年 7 月には、映画ファンを通じて出資を行った第 1 号の映画が公開され、10 月には制作委員会を通じて出資を行った TV アニメーション「獣神演武」が放映開始されるなど実績を積み重ねています。「獣神演武」は、グループ会社間でのコンテンツのマルチユースが図られ、ゲームソフトウェアにあたって関連会社の株式会社シンクアーツによる開発、株式会社ディースリーによる販売が行われるなど、シナジー効果が生まれています。

また、アニメーション分野では、アニメーションの企画・制作及びプロデュースを目的とした「ルーセント・ピクチャーズエンタテインメント株式会社」の活動が開始しました。同社は、コンテンツの源泉確保を図り、当社グループ内のコンテンツ資産のクロスメディア展開によるグループシナジーの創出の一環として、アニメーション映像分野への参入を行っていきます。

新しいメディアとして存在意義を高めているモバイル分野においては、エンタテインメント情報の総合コンテンツを提供するモバイルサイト「フィールズモバイル」の有料会員数は、12 月末時点で 20 万人を突破するなど着実に成長しています。また、次期以降の事業拡大に向けたコンテンツ強化の為の人材拡充にも着手しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 3,875 百万円、営業損益は 454 百万円の損失となりました。

	中間期 (平成 19 年 4 - 9 月)	当第 3 四半期 (平成 19 年 4 月 - 12 月)	前年同期比	(参考) 平成 19 年 3 月期
売上高	2,144 百万円	3,875 百万円	—	5,521 百万円
営業利益 (△損失)	△ 439 百万円	△ 454 百万円	—	△ 513 百万円

注) 売上高には、内部売上高又は振替高を含んでいます。

## 2. 財政状態に関する分析

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

	当第 3 四半期 (平成 19 年 12 月期)	前第 3 四半期 (平成 18 年 12 月末)	前年同期末増減
資 産 合 計	61,920 百万円	66,490 百万円	△4,570 百万円
負 債 合 計	18,399 百万円	24,894 百万円	△6,494 百万円
純 資 産 合 計	43,520 百万円	41,596 百万円	1,924 百万円

#### (資産の部)

流動資産は、38,879 百万円と前第 3 四半期比 8,717 百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金等の減少によるものです。

有形固定資産は、7,521 百万円と前第 3 四半期比 2,904 百万円の増加となりました。これは主に PS・ワールドの営業強化に向けた支店建設予定地の購入等によるものです。

無形固定資産は、3,819 百万円と前第 3 四半期比 451 百万円の増加となりました。のれんが減少した一方、基幹システム再構築に伴うソフトウェアの取得により増加しています。

投資その他の資産は、11,700 百万円と前第 3 四半期比 790 百万円の増加となりました。これは主に繰延税金資産の増加によるものです。

以上の結果、資産の部は、61,920 百万円と前第 3 四半期比 4,570 百万円の減少となりました。

#### (負債の部)

流動負債は、14,632 百万円と前第 3 四半期比 5,643 百万円の減少となりました。これは主に買掛金の減少及び短期借入金の増加等によるものです。

固定負債は、3,766 百万円と前第 3 四半期比 850 百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の減少等によるものです。

以上の結果、負債の部は、18,399 百万円と前第 3 四半期比 6,494 百万円の減少となりました。

#### (純資産の部)

純資産の部は、43,520 百万円と前第 3 四半期比 1,924 百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期における現金及び現金同等物の期末残高は 14,849 百万円となりました。

当第 3 四半期における各キャッシュ・フローの状況は、以下の通りです。

	当第 3 四半期 (平成 19 年 12 月期)	前第 3 四半期 (平成 18 年 12 月期)	前年同期比較増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,053 百万円	8,419 百万円	△5,366 百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,919 百万円	△2,540 百万円	△3,378 百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△114 百万円	1,342 百万円	△1,457 百万円

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第 3 四半期と比べ 5,366 百万円減少し、3,053 百万円の収入となりました。これは主に売上債権の減少 5,966 百万円、たな卸資産の増加 821 百万円、仕入債務の減少 3,882 百万円、法人税等の支払額 4,404 百万円などによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第 3 四半期と比べ 3,378 百万円支出が増加し、5,919 百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産取得による支出 3,218 百万円、投資有価証券の取得による支出 1,798 百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第 3 四半期と比べ 1,457 百万円支出が増加し、114 百万円の支出となりました。これは主に短期借入金が増加 1,971 百万円、長期借入金の返済による支出 699 百万円、配当金の支払 1,274 百万円などによるものです。

### 3. 通期の見通し

通期の連結業績見通しは下記の通りです。

当社は、本日(平成 20 年 2 月 5 日)付にて個別の通期業績見通しの修正を行っていますが、連結の通期業績見通しにつきましては、中間決算発表時(平成 19 年 11 月 6 日)と変更していません。これは、当社の連結子会社が多岐にわたるビジネスモデルを有しているため、現在業績見通しを精査中であり、予想数値が固まり次第発表させていただきます。

連結業績見通し(平成 19 年 11 月 6 日公表、精査中)

(連結)	平成 20 年 3 月期 見通し	平成 19 年 3 月期 実績	前年同期比
売上高	100,000 百万円	85,321 百万円	17.2%増
営業利益	10,000 百万円	8,944 百万円	11.8%増
経常利益	10,000 百万円	9,202 百万円	8.7%増
当期純利益	4,200 百万円	3,710 百万円	13.2%増

[ご参考]個別業績見通し(平成 20 年 2 月 5 日公表)

(個別)	平成 20 年 3 月期 見通し	平成 19 年 3 月期 実績	前年同期比
売上高	80,000 百万円	71,314 百万円	12.2%増
営業利益	11,500 百万円	8,999 百万円	27.8%増
経常利益	11,600 百万円	9,393 百万円	23.5%増
当期純利益	3,700 百万円	4,773 百万円	22.5%減

<個別業績修正の理由>

当社は、市場環境を鑑み、上半期は旧規則対応パチスロ遊技機の設置期限に伴う過去最大の入替え需要が集中すると予測し、新規規則対応パチスロ遊技機を積極的に投入、下半期はパチンコ遊技機の入替えニーズが高まると予測し、パチンコ遊技機販売に注力する戦略を進めてまいりました。

今般、本年 1 月下旬より納品が開始された株式会社ビスティ製パチンコ遊技機「CR 新世紀エヴァンゲリオン～使徒、再び～」が市場の皆様より高い評価を頂き、好調な受注のもと推移するとともに、株式会社ロデオ製パチスロ遊技機「天下無敵! サラリーマン金太郎」が 2 月下旬より納品予定であることから、前回修正発表(平成 19 年 11 月 6 日発表)を上回る見込みです。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計算方法につきましては、一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 連結財務諸表作成に係る会計処理の方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、有形固定資産について改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益への影響は軽微であります。

[添付資料]

5. (要約) 四半期連結財務諸表  
 (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第3四半期		当第3四半期		(参考)	
			(平成18年12月31日現在)		(平成19年12月31日現在)		平成19年3月期	
			金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
( 資 産 の 部 )				%		%		%
I 流動資産								
1. 現金及び預金		23,036			14,987		17,902	
2. 受取手形及び売掛金		14,703			12,140		18,523	
3. たな卸資産		3,029			3,804		2,972	
4. その他		6,876			8,085		6,803	
5. 貸倒引当金		△ 49			△ 139		△ 57	
流動資産合計		47,596	71.6		38,879	62.8	46,144	69.8
II 固定資産								
1. 有形固定資産		4,616	6.9		7,521	12.1	5,756	8.7
2. 無形固定資産		3,367	5.1		—	—	—	—
(1) のれん					779		1,405	
(2) その他					3,039		2,630	
無形固定資産合計					3,819	6.2	4,036	6.1
3. 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券		7,030			6,654		6,216	
(2) その他		4,032			5,432		4,199	
(3) 貸倒引当金		△ 153			△ 385		△ 272	
投資その他の資産合計		10,909	16.4		11,700	18.9	10,144	15.4
固定資産合計		18,894	28.4		23,040	37.2	19,936	30.2
資産合計		66,490	100.0		61,920	100.0	66,081	100.0



(単位: 百万円)

期 別 科 目	前第3四半期 (平成18年12月31日現在)		当第3四半期 (平成19年12月31日現在)		(参考) 平成19年3月期 (平成19年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
		%		%		%
( 負 債 の 部 )						
I 流動負債						
1. 買掛金	12,872		4,963		9,094	
2. 短期借入金	1,834		4,201		2,230	
3. 1年内返済予定長期借入金	935		830		917	
4. 1年内償還予定社債	120		120		120	
5. 賞与引当金	6		4		25	
6. 役員賞与引当金	50		96		98	
7. 受注損失引当金	—		17		—	
8. その他	4,457		4,399		6,379	
流動負債合計	20,276	30.5	14,632	23.6	18,865	28.6
II 固定負債						
1. 社債	430		310		370	
2. 長期借入金	1,465		634		1,238	
3. 退職給付引当金	186		187		195	
4. その他	2,536		2,634		2,575	
固定負債合計	4,617	6.9	3,766	6.1	4,379	6.6
負債合計	24,894	37.4	18,399	29.7	23,244	35.2
( 純 資 産 の 部 )						
I 株主資本						
1. 資本金	7,948		7,948		7,948	
2. 資本剰余金	7,994		7,994		7,994	
3. 利益剰余金	23,528		25,817		24,943	
株主資本合計	39,471	59.4	41,760	67.4	40,886	61.9
II 評価・換算差額等						
1. その他有価証券評価差額金	485		△ 16		214	
2. 為替換算調整勘定	14		29		13	
評価・換算差額等合計	499	0.7	12	0.0	228	0.3
III 新株予約権	—		32	0.1	15	0.0
IV 少数株主持分	1,624	2.5	1,715	2.8	1,705	2.6
純資産合計	41,596	62.6	43,520	70.3	42,836	64.8
負債純資産合計	66,490	100.0	61,920	100.0	66,081	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別		前第3四半期		当第3四半期		(参考) 平成19年3月期	
			(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)		(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)		(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比		
I 売上高	64,144	100.0	77,485	100.0	85,321	100.0		
II 売上原価	44,811	69.9	56,204	72.5	56,072	65.7		
売上総利益	19,332	30.1	21,280	27.5	29,248	34.3		
III 販売費及び一般管理費	14,635	22.8	15,292	19.8	20,303	23.8		
営業利益	4,696	7.3	5,988	7.7	8,944	10.5		
IV 営業外収益	397	0.6	269	0.4	439	0.5		
V 営業外費用	53	0.0	757	1.0	181	0.2		
経常利益	5,041	7.9	5,500	7.1	9,202	10.8		
VI 特別利益	152	0.2	48	0.1	110	0.1		
VII 特別損失	86	0.1	969	1.3	1,086	1.3		
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,107	8.0	4,579	5.9	8,226	9.6		
法人税、住民税及び事業税	2,570	4.0	2,874	3.7	5,058	5.9		
法人税等調整額	228	0.4	△ 557	△ 0.7	△ 625	△ 0.7		
少数株主利益	12	0.0	0	0.0	83	0.1		
四半期(当期)純利益	2,295	3.6	2,261	2.9	3,710	4.3		

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期	当第3四半期	(参考) 平成19年3月期
		(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
		金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益		5,107	4,579	8,226
2. 減価償却費		616	706	817
3. 減損損失		44	760	214
4. のれん償却額		340	272	429
5. 貸倒引当金の増加・減少(△)額		△ 100	195	26
6. 役員賞与引当金の増加・減少(△)額		50	△ 2	98
7. 賞与引当金の増加・減少(△)額		△ 18	△ 20	—
8. 受注損失引当金の増加・減少(△)額		—	17	—
9. 退職給付引当金の増加・減少(△)額		24	△ 7	32
10. 役員退職慰労引当金の増加・減少(△)額		△ 607	—	△ 607
11. 受取利息及び受取配当金		△ 68	△ 89	△ 86
12. 持分法による投資損失		—	395	92
13. 支払利息		40	64	58
14. 匿名組合投資利益		△ 37	△ 43	△ 79
15. 固定資産売却益		△ 0	△ 1	△ 0
16. 固定資産除却損		5	112	743
17. 投資有価証券運用損		—	45	—
18. 売上債権の減少・増加(△)額		32,779	5,966	28,719
19. たな卸資産の減少・増加(△)額		△ 1,378	△ 821	△ 1,341
20. 商品化権前渡金の減少・増加(△)額		676	△ 882	944
21. 前払費用の減少・増加(△)額		△ 545	△ 313	331
22. 立替金の減少・増加(△)額		101	92	52
23. 保管手形の減少・増加(△)額		70	143	△ 37
24. 営業外受取手形の減少・増加(△)額		41	△ 412	△ 175
25. 営業保証金の減少・増加(△)額		20	△ 100	20
26. 仕入債務の増加・減少(△)額		△21,758	△ 3,882	△26,297
27. 未払消費税等の増加・減少(△)額		△ 299	△ 178	△ 152
28. 預り金の増加・減少(△)額		△ 167	△ 636	530
29. 預り保証金の増加・減少(△)額		155	△ 121	190
30. 役員賞与の支払額		△ 105	—	△ 105
31. その他		203	1,563	△ 536
小計		15,189	7,402	12,111
32. 利息及び配当金の受取額		92	116	132
33. 利息の支払額		△ 46	△ 61	△ 63
34. 法人税等の支払額		△ 6,815	△ 4,404	△ 6,887
営業活動によるキャッシュ・フロー		8,419	3,053	5,293

(単位:百万円)

科 目	期 別	前第3四半期	当第3四半期	(参考) 平成19年3月期
		(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
		金額	金額	金額
II	投資活動によるキャッシュ・フロー			
1.	定期預金の預入による支出	△ 1	—	△ 2
2.	定期預金の解約による収入	93	1	98
3.	有形固定資産の取得による支出	△ 366	△ 3,218	△ 1,113
4.	有形固定資産の売却による収入	5	—	16
5.	無形固定資産の取得による支出	△ 894	△ 517	△ 2,425
6.	投資有価証券の取得による支出	△ 1,108	△ 1,798	△ 1,050
7.	投資有価証券の売却及び償還による収入	529	465	758
8.	関係会社株式の取得による支出	△ 50	—	△ 16
9.	新規連結子会社の取得による収入・支出(△)	△ 9	△ 289	△ 9
10.	出資による支出	△ 126	—	△ 596
11.	貸付による支出	△ 23	△ 1	△ 23
12.	貸付金の回収による収入	43	8	40
13.	敷金保証金の差入による支出	△ 349	△ 266	△ 363
14.	敷金保証金の解約による収入	35	77	136
15.	長期前払費用の支出	△ 8	△ 56	△ 8
16.	保険積立金の積立による支出	△ 0	△ 0	△ 1
17.	その他	△ 308	△ 321	△ 211
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,540	△ 5,919	△ 4,772
III	財務活動によるキャッシュ・フロー			
1.	短期借入金の増加・減少(△)額	1,081	1,971	1,477
2.	長期借入による収入	2,000	—	2,000
3.	長期借入金の返済による支出	△ 366	△ 699	△ 418
4.	社債の償還による支出	△ 50	△ 60	△ 110
5.	担保提供による支出	—	△ 59	△ 81
6.	株式発行による収入	—	7	0
7.	配当金の支払額	△ 1,321	△ 1,274	△ 1,389
8.	その他	—	—	10
	財務活動によるキャッシュ・フロー	1,342	△ 114	1,488
IV	現金及び現金同等物に係る換算差額	36	0	32
V	現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	7,258	△ 2,980	2,042
VI	現金及び現金同等物の期首残高	15,777	17,819	15,777
VII	新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	10	0
VIII	現金及び現金同等物の第3四半期(期末)残高	23,035	14,849	17,819

(4)セグメント情報

[ 事業の種類別セグメント情報 ]

当四半期(平成20年3月期 第3四半期)

(単位:百万円)

	PS・ フィールド	ゲーム・ フィールド	その他 フィールド	計	消去又は全社	連結
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	65,065	8,689	3,729	77,485	—	77,485
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	277	162	145	585	(585)	—
計	65,343	8,851	3,875	78,070	(585)	77,485
営業費用	58,469	9,266	4,329	72,065	(569)	71,496
営業利益又は営業損失(△)	6,873	△414	△454	6,004	(15)	5,988

(注) 1. 事業の区分は商品、サービス等の類似性を考慮してPS・フィールド、ゲーム・フィールド、その他フィールドの区分になっております。

2. 各区分の主な内容

- (1) PS・フィールド・・・遊技機の仕入販売、企画、開発かつこれに付帯する関連業務等
- (2) ゲーム・フィールド・・・ゲームソフト等パッケージソフトの企画開発、販売等
- (3) その他フィールド・・・スポーツマーケティング他

3. 全ての営業費用は、各セグメントに配分されているため、配賦不能営業費用はありません。

前期(平成19年3月期)

(単位:百万円)

	PS・ フィールド	ゲーム・ フィールド	その他 フィールド	計	消去又は全社	連結
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	71,064	9,847	4,409	85,321	—	85,321
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	242	99	1,112	1,453	(1,453)	—
計	71,306	9,946	5,521	86,774	(1,453)	85,321
営業費用	62,233	9,726	6,034	77,994	(1,618)	76,376
営業利益又は営業損失(△)	9,073	220	△513	8,780	164	8,944

(注) 1. 事業の区分は商品、サービス等の類似性を考慮してPS・フィールド、ゲーム・フィールド、その他フィールドの区分になっております。

2. 各区分の主な内容

- (1) PS・フィールド・・・遊技機の仕入販売、企画、開発かつこれに付帯する関連業務等
- (2) ゲーム・フィールド・・・ゲームソフト等パッケージソフトの企画開発、販売等
- (3) その他フィールド・・・スポーツマーケティング他

3. 全ての営業費用は、各セグメントに配分されているため、配賦不能営業費用はありません。

[ 所在地別セグメント情報 ]

当四半期(平成20年3月期 第3四半期)

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める日本の割合が、いずれも90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

前期(平成19年3月期)

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める日本の割合が、いずれも90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[ 海外売上高 ]

当四半期(平成20年3月期 第3四半期)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

前期(平成19年3月期)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

[添付資料]

6. (要約) 四半期財務諸表  
 (1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別		前第3四半期		当第3四半期		(参考)	
			(平成18年12月31日現在)		(平成19年12月31日現在)		平成19年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%		%		%
I 流動資産								
1. 現金及び預金	19,456		12,204		14,083			
2. 受取手形	8,082		5,197		3,346			
3. 売掛金	3,182		3,407		13,152			
4. たな卸資産	414		189		358			
5. 商品化権前渡金	2,986		3,523		2,626			
6. その他	2,961		4,571		2,735			
7. 貸倒引当金	△ 41		△ 120		△ 50			
流動資産合計	37,042	65.2	28,973	55.6	36,253	63.0		
II 固定資産								
1. 有形固定資産	3,947	6.9	7,054	13.5	5,245	9.1		
2. 無形固定資産	1,746	3.1	2,815	5.4	2,576	4.5		
3. 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	2,637		2,361		2,351			
(2) 関係会社株式	7,980		5,630		7,876			
(3) その他	4,118		6,363		3,745			
(4) 貸倒引当金	△ 614		△ 1,089		△ 539			
(5) 投資損失引当金	△ 20		—		—			
投資その他の資産合計	14,102	24.8	13,265	25.5	13,434	23.4		
固定資産合計	19,795	34.8	23,135	44.4	21,256	37.0		
資産合計	56,838	100.0	52,108	100.0	57,509	100.0		

(単位: 百万円)

科 目	期 別		前第3四半期		当第3四半期		(参考)	
			(平成18年12月31日現在)		(平成19年12月31日現在)		平成19年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
( 負 債 の 部 )		%		%		%		%
I 流動負債								
1. 買掛金	11,389		3,555		8,199			
2. 賞与引当金	6		4		25			
3. 役員賞与引当金	50		96		98			
4. 保証債務損失引当金	—		830		—			
5. その他	2,136		3,307		4,435			
流動負債合計	13,582	23.9	7,794	15.0	12,758	22.2		
II 固定負債								
1. 退職給付引当金	166		161		173			
2. 預り保証金	2,539		2,454		2,575			
固定負債合計	2,706	4.8	2,615	5.0	2,749	4.8		
負債合計	16,288	28.7	10,409	20.0	15,507	27.0		
( 純 資 産 の 部 )								
I 株主資本								
1. 資本金	7,948	14.0	7,948	15.2	7,948	13.8		
2. 資本剰余金								
(1) 資本準備金	7,994		7,994		7,994			
資本剰余金合計	7,994	14.1	7,994	15.3	7,994	13.9		
3. 利益剰余金								
(1) 利益準備金	9		9		9			
(2) その他利益剰余金								
別途積立金	20,000		20,000		20,000			
繰越利益剰余金	4,111		5,762		5,834			
利益剰余金合計	24,121	42.4	25,772	49.5	25,843	44.9		
株主資本合計	40,064	70.5	41,715	80.0	41,786	72.6		
II 評価・換算差額等								
1. その他有価証券評価差額金	485		△ 16		214			
評価・換算差額等合計	485	0.8	△ 16	0.0	214	0.4		
純資産合計	40,549	71.3	41,698	80.0	42,001	73.0		
負債純資産合計	56,838	100.0	52,108	100.0	57,509	100.0		

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別		前第3四半期		当第3四半期		(参考) 平成19年3月期	
			(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)		(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)		(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比		
I 売上高	53,173	100.0	65,335	100.0	71,314	100.0		
II 売上原価	36,865	69.3	47,379	72.5	46,164	64.7		
売上総利益	16,307	30.7	17,955	27.5	25,150	35.3		
III 販売費及び一般管理費	11,261	21.2	11,154	17.1	16,150	22.7		
営業利益	5,046	9.5	6,800	10.4	8,999	12.6		
IV 営業外収益	369	0.7	273	0.4	407	0.6		
V 営業外費用	4	0.0	192	0.3	13	0.0		
経常利益	5,411	10.2	6,881	10.5	9,393	13.2		
VI 特別利益	132	0.2	43	0.1	89	0.1		
VII 特別損失	7	0.0	4,461	6.8	749	1.1		
税引前四半期(当期)純利益	5,536	10.4	2,464	3.8	8,734	12.2		
法人税、住民税及び事業税	2,183	4.1	2,549	3.9	4,272	6.0		
法人税等調整額	302	0.6	△ 1,401	△ 2.1	△ 311	△ 0.5		
四半期(当期)純利益	3,050	5.7	1,316	2.0	4,773	6.7		